

目 次

1. 自由研究

| |
|---|
| 同和・解放教育の一指導者が問いかける教育論のあり方 ——横田三郎（1923-2010）はなぜ立ち上がる子どもを描かなかったか？—— 岡 本 洋 之 (1) |
| 「能動的になること」の理論的考察 —ドゥルーズのスピノザ論に基づいて—..... 佐々木 晃 也 (6) |
| 市民教育としての仮説実験授業の可能性..... 鎌 田 祥 輝 (11) |
| ポリテア第七巻における対話的問答法とプラトンの教育..... 東 敏 徳 (16) |
| 上田薫による教育評価論の可能性 ——現代的諸課題に関する学習への示唆に着目して——..... 祁 白 麗 (21) |
| 教科書のなかのお雇い教師 H. ダイアー 加 藤 詔 士 (26) |
| 小・中学生のレジリエンスと地域とのつながりの関係に関する量的分析 —教育コミュニティ論に基づく「地域の教育力」の検証—..... 濱 元 伸 彦 (31) |
| 義務教育学校におけるコミュニティ・スクールの導入状況 —へき地・小規模 CS 義務教育学校に着目して— 大 橋 保 明 (36) |
| 学習雑誌『伸びて行く』の編集過程に関する一考察 ——「自由」と「協同」の関係性をめぐって——..... 岩 花 春 美 (41) |
| 「不登校」児童の家庭・学校間「行き来」駆動促進要因 —「家庭から外に出るとき」と「外から学校に入るとき」に注目して— 笹倉千佳弘・井上寿美 (46) |
| 終末期看護の戸惑いに対する看護教育へ向けて..... 梅 川 奈 々 (51) |
| 入試改革に向けた高大連携の取り組みと課題..... 中 間 茂 治 (56) |
| 部活動指導員制度に関する一考察 —積極的生徒指導の機能に着目して—..... 池 原 征 紀 (61) |
| 総合的な学習の時間に取り組む「いのちの学習」の実践 —大災害の新聞記事から学ぶ“自分のできること”の探求—..... 秋 山 麗 子 (66) |
| P. ブラックと D. ウィリアムによる形成的アセスメント論の理論的展開 石 田 智 敬 (71) |
| 異なる時期の類似する生徒指導傾向の間にかくにして差異を見出せるか —生徒との関わり方に着目して—..... 佐 川 宏 迪 (76) |

| | | |
|--|----------------|-------|
| 身近な自然物を生かした植物の教材づくり | 川 潤 博 祥 | (81) |
| 台所でできる理科実験開発 | | |
| —自己学習で実感を伴った理解に導く— | 内 山 裕 之 | (86) |
| 日本におけるサービス・ラーニングの展開 (15) | | |
| —一定時制高校における調査から— | | |
| | 大東貢生・富川 拓 | (91) |
| 学習者による歴史実践 (doing history) を中核にした歴史授業改革の展開 | | |
| —高校の世界史授業改革の事例研究を通して— | 中 村 洋 樹 | (96) |
| 教職科目「教職実践演習」履修者の進路指導に関する一考察 | | |
| —「進路カード」を用いた分析— | 藤 原 靖 浩 | (101) |
| 教師教育から教育学の構造化を考える | | |
| | 近藤真理子・藤本文朗 | (106) |
| 音楽科授業における教師の実践知をいかにして解明するか | 高 見 仁 志 | (111) |
| 現代教育課程への提言 | | |
| —フレール教育論文「マイニンゲン領ヘルバに計画された国民学校」との比較を基に— | | |
| | 馬 場 住 子 | (116) |
| 高橋さやかの子童文学教育論 | 吉 田 直 哉 | (121) |
| 幼少期の「遊び」についての回想と「遊び」に対する捉え方の研究 | | |
| | 藤 重 育 子 | (126) |
| 小学校における地域子育て支援の学びの過程に関する研究 | | |
| | 竹澤尚美・新川泰弘・吉弘淳一 | (131) |
| 保育者養成における大学と併設園との協働についての研究 | | |
| | 久保田健一郎・野口知英代 | (136) |
| 継続的な保育観察に基づいた学生の学びとその可能性 | | |
| —「協同的な遊び」に対する捉え方の変容を中心に— | 小 尾 麻 希 子 | (141) |

2. 公開シンポジウム

| | | |
|---|---------|-------|
| 子どもの幸福と教育を考える | | |
| —公開シンポジウムの趣旨説明— | 宮 野 安 治 | (147) |
| 教育学の立場から子どもの幸福と教育を考える | | |
| Children-Our future; Teachers' challenge and reward | 山 崎 洋 子 | (149) |
| 子どものウェルビーイングをめざして | | |
| —子ども家庭福祉の立場から— | 才 村 純 | (155) |

子どもの幸福と教育を考える

—子どもも教師も共に育つ「共育」の提案—…………… 三宅 喜美子 (160)

3. その他

2018 年度会報

I. 理事会 …………… (165)

II. 編集委員会 …………… (166)

III. 第 70 回大会報告 …………… (167)

寄贈図書・雑誌一覧『年報』42 号刊行以降 …………… (175)

関西教育学会会則 …………… (176)

関西教育学会設立趣意書 …………… (179)

『関西教育学会年報』通巻第 43 号の執筆要領 …………… (180)

関西教育学会 年次大会シンポジウム歴代記録 …………… (182)

編集後記 …………… (196)

英文目次 (CONTENTS) …………… (197)